

## 令和5年度都立篠崎高校における教科指導の重点

教科	重点課題	取組	発展的取組
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>「読むこと」の指導の充実</li> <li>「書くこと」の指導の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>4月の教科会で年間指導計画について科内で共有し、指導事項について確認する。</li> <li>「読むこと」の指導を通して自己の考えをまとめ、表現できる力を身に付けさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>論理的な文章及び実用的な文章を読む力を身に付けるために、特に情報の扱い方に関する事項について力を入れて授業を実施する。</li> <li>文章を読んだり他者の話を聞いたりする中で、自己の考えを文章にまとめ、それをオンライン上でクラス内で共有し、それぞれの文章の良い点を評価し合う。</li> </ul>
地歴・公民	観点別評価の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>グランドデザイン、教科内ルーブリックに基づいた指導と評価の一体化に向けた指導改善案の策定と実施</li> <li>各学期で評価方法及び定期考査の結果の共有と改善案検討、授業の相互参観を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>観点別学習状況の評価の理解を深める研修会の実施</li> <li>令和6年度実施の「日本史探究」、「世界史探究」、「政治・経済」の指導と評価の在り方を検討</li> </ul>
数学	<ul style="list-style-type: none"> <li>中学校での既習事項の定着</li> <li>基礎学力の定着</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Studyaidやすらら、Classiなどの学習ソフトやサービスを活用し、中学校の既習事項について復習し定着させていく。同様に、高校の内容についても基礎学力の定着を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>高校での学習内容に、中学校の既習事項や定着した基礎学力を生かすことで、より理解度を高め、発展的な内容へチャレンジさせ、理系進学率を高める</li> </ul>
理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>主体的に学ぶ環境づくり。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒相互に学ぶ時間の確保。</li> <li>生徒の自由意見を尊重する。</li> <li>答えが難しい問題を考えさせる。</li> <li>実験例や手順を参考にして実験を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>実験結果を考察し発表する。</li> <li>個人、班で問題を解く。</li> </ul>
保健体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>主体的に体育授業に取り組む生徒の育成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>体育委員を中心とした授業の取り組みとし、準備・片付けも含め生徒が主体的に取り組むように指導を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学期末など時間の余裕のある時には、体育委員がその日に行う種目や授業内容を決定し、皆が楽しむことができるように適宜アドバイスをを行う。</li> </ul>
芸術	「表現意図をもつこと」の指導の充実	表現意図の根拠となる基礎知識や表現力の向上を重視した授業を実施	発表、パフォーマンス、グループ活動等を通して、表現の工夫や問題解決を目指した学習
外国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>外国語の技能(四技能)について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる力を身に付ける。</li> <li>英語学習において、生徒の主体性を伸長する工夫をおこなう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コミュニケーション活動を通して基礎学力の向上をはかる。</li> <li>ペアワーク・グループワークによる話し合い活動と発表活動、パフォーマンステストを実施する。</li> <li>生徒の英語を発する時間を増やす。</li> <li>ペアワーク・グループワーク、アクティブラーニングの時間を増やし、生徒の主体性を伸ばす。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>一般受験に対応できる学力を養成する。</li> <li>海外学校間交流をより活発にし、実際に英語に触れる時間を多くする。</li> </ul>
家庭	<ul style="list-style-type: none"> <li>「生きる力」を育む</li> <li>主体的に学習に取り組む態度に関する評価の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業に話し合い活動を積極的に取り入れることによる主体的・対話的で深い学びの実現</li> <li>授業毎にformsを活用した振り返りシートの記入を行い、生徒の主体性に関する評価を充実させる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校家庭クラブへの加盟</li> <li>長期休暇を活用したホームプロジェクトの実施</li> <li>教科に関する各種コンクールへの参加</li> </ul>
情報	<ul style="list-style-type: none"> <li>「探究」に資するスキル取得</li> <li>情報モラルの主体的活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>パソコンに対する基本的な操作を重視し、「探究」や他教科の学習に活用できる習得する。</li> <li>とくに、SNSに対するモラルについて、さまざまな事例をもとに理解を深め、実社会でも役立つものとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>パソコン関連の各種資格の取得を目指す。</li> <li>プレゼンテーション能力を高め、発信能力を高める。</li> </ul>